



## 2月の感染症ドミノはヒトメタ！

新型コロナが五類化した後、コロナの影響で減っていた感染症が次から次に流行する状況が現在まで続いています。これを「感染症ドミノ」とか呼ぶそうですが、2月の流行の中心はヒトメタニューモウイルス感染症でした。ヒトメタニューモウイルス感染症のおさらいをしてみましょう。

ヒトメタニューモウイルス(hMPV)は、RSVウイルスと似た呼吸器症状を引き起こすウイルスです。全ての年齢の人がかかる感染症で、2歳までに30%、5歳までに75%、10歳までにほぼ100%が一度は感染するといわれています。1回の感染では十分な免疫ができず、小児期には再感染を繰り返します。潜伏期間は4~5日。主な症状は、鼻水、咳、4~5日程度続く38.5℃以上の発熱です。咳は次第にひどくなり、夜間が眠れなくなる、ゼーゼー(喘鳴)など呼吸困難を伴うようになり、入院になることもあります。診断は鼻の奥の分泌物による迅速抗原検査で行います。残念ながらヒトメタニューモウイルスに効く薬はありません。ワクチンもありません。治療としては安静とこまめな水分補給が大切になります。

### 家庭看護のポイント (4)

#### ～嘔吐したときの病院受診のタイミング～

嘔吐をした後もけろっとしている、水分を与えれば少しずつ飲める場合は、自宅で様子を見たのでいいでしょう。病院受診目安示してみます。

- ①機嫌がすこぶる悪い。
- ②頻回の嘔吐があり、半日以上水分がとれない。
- ③血便を伴う。
- ④高熱があり機嫌が悪い。

赤ちゃんはよく吐くことがあります。吐いた後も機嫌がよく、うんちやおしっこがちゃんと出ていれば様子を見たのでいいでしょう。



### 2月の感染症情報

2月に入りインフルエンザは姿を消しました。コロナは定点あたり1週間で7~8人で推移しています。この2疾患にかわって、感染性胃腸炎、RSV感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症が増えました。

2月下旬からは、ヒトメタニューモウイルス感染症と感染性胃腸炎の増加が目立つようになりました。



### 1月の利用状況

2月の利用延べ人数は66人、1日平均利用人数は3.7人でした。年齢別では、1歳児、3歳児、2歳児の順で20人、13人、10人でした。疾患別では急性上気道炎と感染性胃腸炎が22人、21人で、この2疾患で全体の2/3を占めていました。その他、ヒトメタ、RSV感染症のお子さんの入室がありました。

寒暖差の激しい毎日があつづきます。くれぐれもご自愛ください。